

絆

題字
堤 美幸 元理事

(新潟市青少年育成協議会創立60年の節目を契機に第12号から題字を刷新しました。)

新潟市
青少年育成協議会

第15号

●発行●
令和7年1月15日

●事務局●
新潟市教育委員会
生涯学習推進課

子どもたちの絆を大切に

新潟市青少年育成協議会

会長 郷 扶二子



新年あけましておめでとございませう。

関係団体の皆様には、日頃より当会の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

今年度の活動はほぼコロナ前の活動に戻り、主な事業が計画通りに行えたことをうれしく思っております。

新潟市は「コミュニティ・スクール」や「中学校部活動の地域移行」と新しい取組が始まってきています。そのような中で、各地区育成協議会は地域の受け皿として大きな役割を担っています。

どの取組も子どもたちが何を学びたいのか、どんな活動をしたのか、そして何を学んでほしいのかをおとなたちが共有し、それを実現するために学校・保護者・地域で知恵を出し合いネットワークを作っていく事が大切だと思います。

今年度の健全育成講演会の中で講師の江口様は、「子どもたちの可能性を信じ、まずはすべてを肯定していくこと、そして子どもを支援するおとなネットワークを広げることが大切」とお話しされてい

ました。私たち育成協議会はそれぞれの地域でおとなのネットワークを広げ、子どもたちの行動を肯定し一緒に汗を流す場をたくさん作っていく役割があるのだと思います。

「子ども条例」の中で、子どもの社会活動に参加する権利があげられています。おとなたちだけが決める地域活動ではなく、いろいろな場面で子どもの声を聞き参加する活動を展開していくことを考えなければなりません。

多くのおとなの努力は必ず子どもたちの心に「ふるさと」を育てていると思えます。

昨年発生した能登半島地震で私の住んでいる地域の坂井輪中学校は甚大な被害を受けました。帰省していた大学生や社会人の卒業生から「中学校のために何かしたいのですが。」といった連絡をたくさんいただきました。今はこの地を離れていても「ふるさと坂井輪」は心の中にあることがわかり嬉しく思いました。

多様な価値観の中で新しい時代の新しい活動を作り上げていく、難しい社会の流れの中ですが、新潟市の子どもたちが幸せな子ども時代を過ごせるように力を注いでいきたいと思えます。

これからも皆様方の変わらぬ活躍と健康を祈念いたします。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

令和六年度 県・市功労者表彰受賞者紹介

新潟市青少年育成協議会 功労者表彰

《個人》



濁川地区 齋藤 浩美様
十八年間環境整備部に在籍し春風さわやかクリン作戦(通学路のごみ拾い)やポイ捨て看板設置及びバイパストンネル内の落書き消しなど、地域の環境美化に尽力しました。



亀田地区 湯田 昭子様
平成十二年の理事就任から、長年にわたり見回りパトロール、子どもを対象とする諸事業実施の中心的な立場で熱心に取り組んできました。協議会の土台づくりに寄与しました。



坂井輪地区 大久保智子様
平成十九年度から令和四年度まで副会長、その後は理事として地区の協議会を支えました。主任児童委員や子ども食堂開設による居場所づくりなどの中心的な役割で取り組みました。

《団体》

新潟柳都地区 北部開発協議会様
昭和六十二年に創刊した新聞「よみがえれ!わが町」は約二百五十号となり、手書き清書による紙面は小学生にもわかりやすく、自分が住んでいる身近なものからまちづくり

が感じられます。新潟まつりでは、「子どもみこし」を支援し参加しました。

受賞者の皆様
おめでとうございます。



*湯田様は欠席のため、亀田地区青少年育成協議会山口会長が代理で受け取りました。

※青少年健全育成県民会議会長表彰及び青少年健全育成功労者新潟県知事表彰はありません。

令和六年度 新潟市青少年育成協議会 役員紹介

六月十三日(木)の年次総会において、令和六年度の役員が承認されましたのでご紹介いたします。

- | | |
|------|-----------------|
| 会長 | 郷 扶二子 (西区・坂井輪) |
| 副会長 | 比企 裕子 (江南区・大江山) |
| 副会長 | 池田 陽 (西蒲区・湯東) |
| 理事 | 清水 文桜 (北区・南浜) |
| 理事 | 佐久間沙都美 (北区・木崎) |
| 理事 | 中川 薫 (東区・藤見) |
| 理事 | 高居 和夫 (東区・石山) |
| 理事 | 宮原 務 (中央区・新潟柳都) |
| 理事 | 上杉 知之 (中央区・鳥屋野) |
| 理事 | 宇野 耕哉 (江南区・横越) |
| 理事 | 馬場 一也 (秋葉区・西部) |
| 理事 | 山田 啓一 (秋葉区・新関) |
| 理事 | 遠藤 嘉 (南区・白井) |
| 理事 | 平原 大悟 (南区・味方) |
| 理事 | 五十嵐陽子 (西区・小新) |
| 理事 | 笠井 敏夫 (西蒲区・西川) |
| 理事 | 増井 智子 (東区・東新潟) |
| 理事 | 滝澤 剛平 (東区・山の下) |
| 会計監査 | |

各区青少年育成協議会の活動紹介



秋葉区



秋葉区育成協では、11月9日に「あきは未来フォーラム」を秋葉区文化会館で開催しました。アトラクションでは、新津第一中学校合唱部の皆さんが歌声を披露しました。



北区



南浜育成協では、6月29日に「海辺の森で遊ぼう」を開催しました。参加者45名でキャンプ場内の動植物の散策や、流木アート作りを楽しんだ後、焼きたてピザを美味しくいただきました。



南区



味方地区育成協では、毎年8月に「はたちの集い in 味方」を開催します。今回は、二十歳の自分への手紙を開封し、恩師から提供された小学校時代の写真を見て、楽しく過ごしました。



東区



石山中学校区育成協では、11月7日に丸山明生教育次長をお招きし「新潟市の教育」について講演会を開催しました。地域の現状や課題、取組について理解を深めました。



西区



坂井輪中学校区育成協では10月31日に広報紙「さかいわ」第100号を発行しました。これまでの活動やお祝いの言葉を掲載しました。



中央区



上山中学校区育成協では、健全育成部で毎年映画祭を開催しています。小中学生、保護者も含め、たくさんの方が参加し、喜んでいただいています。



西蒲区



西川地区育成協議会では、地区内の小中学校4校に「あいさつ運動」を10月21日から24日にかけて行いました。児童生徒の登校時に、「おはようございます!」と呼びかけると、皆さん大きな声で返してくれました。



江南区



曾野木地区育成協では、能登半島地震の液状化を踏まえ、「もし登下校時に地震が起きたらどうする?」を親子で学びました。その後ペットボトルランタン作りやアルファ化米試食を体験しました。

非行・被害防止キャンペーン2024

青少年の非行・被害防止全国強調週間の取組として、七月二十日（土）に街頭PR活動を実施しました。今年度も、各地区育成協会や青少年関係団体等から、約百名の皆様からご参加をいただきました。

新潟駅や万代ステイ周辺で、啓発ポスターとキッチンスポンジを約千八百セット配布しました。

関係団体の子どもたちの元気な呼び掛けに、受け取る市民や旅行者の方からも自然と笑顔が溢れていました。



街頭PR活動の様子

啓発ポスターコンクール 入賞作品

青少年の非行・被害防止全国強調週間の取組として、「青少年の非行・被害防止」をテーマとして啓発ポスター（イラスト）を募集しました。

市内の小中学生から小学生部門八十五点、中学生部門二十五点の応募がありました。次の作品が入賞しました。

小学生部門 (敬称略)

《最優秀賞》 西内野小六年 藤本 彩羽
《優秀賞》 渦東小二年 齋藤 仁

奨励賞

亀田小六年 坂井志乃巴
関屋小六年 杉山 絢音
白井小六年 玉井日向乃
南中野山小五年 牧岡 亜子
南中野山小五年 松岡みのり
南中野山小五年 小野塚由夏
南中野山小五年 谷川 咲花

中学生部門 (敬称略)

《最優秀賞》 大形中三年 高坂日奈葵
《優秀賞》 光晴中一年 鋤柄 怜依
巻東中三年 向井 里緒

奨励賞

高志中一年 坂井孝乃介
大形中一年 高橋 華
大形中一年 中川 太一
大形中一年 中村 想
大形中三年 水橋 咲希

小学生部門

《最優秀賞》(藤本さん)



優秀賞(齋藤さん)
優秀賞(坂井さん)
優秀賞(藤本さん)

中学生部門

《最優秀賞》(高坂さん)



優秀賞(鋤柄さん)
優秀賞(向井さん)

啓発ポスターの展示

受賞作品(最優秀賞・優秀賞・奨励賞)及び受賞候補作品を展示しました。どの会場でも多くの市民の方から見ていただき、非行・被害防止に向けての機運が高まりました。



| 場所 | 期間 |
|-----------------|---------------------|
| ラブラ万代 | 8月 5日(月)～ 8月19日(月) |
| イオンモール新潟亀田インター店 | 9月17日(火)～ 9月30日(月) |
| 新潟県立図書館 | 10月 9日(水)～10月20日(日) |

新潟市青少年健全育成講演会

十月五日（土）、中央図書館ほんぽーとを会場に、新潟市青少年育成団体連絡会議主催の「新潟市青少年健全育成講演会」が開催されました。この講演会は、新潟市が行っている「若者支援者養成講座」との合同開催で、ナマラエインターテイメント代表取締役の江口歩様からご講演をいただきました。重層的な思考くあらゆるものに頼る



者養成講座」との合同開催で、ナマラエインターテイメント代表取締役の江口歩様からご講演をいただきました。重層的な思考くあらゆるものに頼る

会長・事務局研修会

十月二十三日（水）、黒崎市民会館において会長・事務局研修会を開催しました。

前半は、部活動の地域移行について新潟市教育委員会学校支援課地域クラブ活動推進室長の藤田淳様から「講話をいただき、「柳都クラブ」から事例を紹介していただきました。その後、各地区育成協の取組から大形地区の「大形夏フェス」を紹介いただきました。

後半は、グループに分かれ、前半の講話を踏まえ、地域で過ごす時間が増える中学生の活動と育成協の関わりや各地区育成協の取組について意見や情報を交換しました。アンケートには「関心のあるテーマで、とても参考になりました。」などの記述があり、各地区育成協としてどのようにかかわり、活動を充実させていくかを考えることのできた有意義な時間となりました。



*新潟市青少年育成協議会は新潟市からの補助金を受けて運営しています。